



2023年5月9日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子
(TEL 053-460-2210)

2023年3月期 決算の概要と2024年3月期 業績予想について[IFRS]

□ 2023年3月期決算の概要 — 増収・増益 —

2023年3月期の売上収益は、半導体調達難、エントリーモデルの需要減、および中国での新型コロナウイルス感染症による混乱などの影響を受けたものの、対USドルの為替レートが大幅な円安になったこともあり、前期に対し432億円(10.6%)増加の4,514億円となりました。事業利益は、材料費などのコストが上昇する中、為替の寄与もあり、前期に対し28億円(6.6%)増加の459億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、事業利益の増加等により、9億円(2.5%)増加の382億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

● 楽器事業

売上収益 3,027億円(前期比 9.6%増) 事業利益 362億円(前期比 3.0%減)

アコースティックピアノは、中国での新型コロナウイルス感染症による混乱の影響により大幅な減収となりました。電子楽器は、エントリーモデルを中心に需要が鈍化し減収となりました。管弦打楽器は北米での伸長により大幅な増収となりました。ギターは、エレキギターの好調により増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し265億円の増収となりましたが、アコースティックピアノの大幅な減収の影響により、事業利益は、11億円の減益となりました。

● 音響機器事業

売上収益 1,076億円(前期比 11.1%増) 事業利益 35億円(前期比 125.3%増)

オーディオ機器は、半導体調達難による影響およびエントリーモデルの販売不振により大幅な減収となりました。業務用音響機器は、半導体調達難の一部改善により商品供給が進み増収となりました。ICT機器は、ネットワーク関連の販売が好調に推移し大幅な増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し107億円の増収となりました。事業利益は、19億円の増益となりました。

● 部品・装置、その他の事業

売上収益 411億円(前期比 17.1%増) 事業利益 62億円(前期比 49.1%増)

電子デバイスとゴルフ用品は、大幅な増収となり、自動車用内装部品およびFA機器は、減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し60億円の増収となりました。事業利益は、20億円の増益となりました。

□ 2024年3月期業績予想 — 過去最高の事業利益、および増配を予想 —

世界経済の見通しは依然として不透明であるものの、中国や欧州をはじめとした市場の回復や、半導体調達難などによる商品供給不足の改善などを織り込み、売上収益4,700億円（前期比4.1%増）、事業利益560億円（前期比22.1%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益420億円（前期比10.0%増）といたします。

事業利益560億円は、2019年3月期の527億円を更新し過去最高を予想いたします。また、年間配当は74円（前期比8円増）を予想いたします。

なお、本予想における想定為替レートは、対USドル130円、対ユーロ140円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2023年3月期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社
2023年5月9日

(1) 主要財務指標

	前期実績	当期予想 (*23/2/7発表)	当期実績	次期予想
	22年3月期	23年3月期	23年3月期	24年3月期
売上収益	4,082億円	4,500億円	4,514億円	4,700億円
うち国内	1,054億円 (25.8%)	1,061億円 (23.6%)	1,086億円 (24.1%)	1,103億円 (23.5%)
うち海外	3,028億円 (74.2%)	3,439億円 (76.4%)	3,428億円 (75.9%)	3,597億円 (76.5%)
事業利益 (*1)	430億円 (10.5%)	480億円 (10.7%)	459億円 (10.2%)	560億円 (11.9%)
営業利益	493億円 (12.1%)	485億円 (10.8%)	465億円 (10.3%)	560億円 (11.9%)
税引前利益	530億円 (13.0%)	515億円 (11.4%)	506億円 (11.2%)	580億円 (12.3%)
当期利益 (*2)	373億円 (9.1%)	370億円 (8.2%)	382億円 (8.5%)	420億円 (8.9%)
為替レート(決済レート) (*3)	112円/US\$ 131円/EUR	135円/US\$ 136円/EUR	136円/US\$ 136円/EUR	130円/US\$ 140円/EUR
ROE	9.2%	8.6%	8.8%	9.0%
ROIC (*4)	7.3%	7.9%	7.8%	8.7%
ROA	6.5%	6.3%	6.5%	6.9%
1株当たり利益	214.8円	215.6円	222.6円	248.5円
設備投資額 (減価償却費)	148億円 (121億円)	255億円 (130億円)	205億円 (131億円)	335億円 (145億円)
研究開発費	240億円	255億円	251億円	260億円
(キャッシュフロー)				
営業活動	360億円	120億円	△148億円	920億円
投資活動	437億円	△170億円	△216億円	△290億円
フリーキャッシュフロー	797億円	△50億円	△364億円	630億円
期末在庫高	1,186億円	1,470億円	1,536億円	1,280億円
(要員数)				
国内	5,615人	5,600人	5,573人	5,600人
海外	14,280人	14,700人	14,454人	14,800人
正社員計 (*5)	19,895人	20,300人	20,027人	20,400人
正社員外要員(期中平均)	8,863人	8,300人	8,225人	8,000人
(事業別売上収益)				
楽器	2,762億円 (67.7%)	3,030億円 (67.3%)	3,027億円 (67.1%)	3,180億円 (67.7%)
音響機器	969億円 (23.7%)	1,060億円 (23.6%)	1,076億円 (23.8%)	1,120億円 (23.8%)
その他	351億円 (8.6%)	410億円 (9.1%)	411億円 (9.1%)	400億円 (8.5%)
(事業別事業利益 (*1))				
楽器	373億円	390億円	362億円	430億円
音響機器	15億円	30億円	35億円	80億円
その他	42億円	60億円	62億円	50億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

23年3月期 (*22/4月-23/3月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 (*6)	売上収益	前期比 (*6)	売上収益	前期比 (*6)	売上収益	前期比 (*6)
日本	574億円	98%	321億円	112%	191億円	104%	1,086億円	103%
北米	827億円	114%	245億円	97%	70億円	97%	1,142億円	109%
欧州	556億円	97%	269億円	98%	2億円	41%	828億円	97%
中国	510億円	79%	64億円	82% (81%)	51億円	128%	625億円	82%
その他	560億円	103%	177億円	102%	96億円	119%	833億円	104%
合計	3,027億円	98%	1,076億円	101% (101%)	411億円	107%	4,514億円	100%

*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。

*4 ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

*5 要員数＝期末社員在籍数

*6 前期比は為替を除いた実質ベースでの比較、()内はOEM向けを除いた前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。